

事務事業評価シート(令和5年度事務事業)

シートNo.	都-31	事務事業名	三国・津古5310号線道路整備事業		部・課・係	都市建設部	まちづくり推進課	施設・公園係	
事業No.	J004189	開始年度	平成30年度	終了予定年度	令和7年度	施策コード	P2021	作成責任者	まちづくり推進課長

事業の目的	津古区の自治公民館へ行くための道路であるが、現道は幅員が約3mと狭く、車の離合ができない道路である。道路の拡幅整備により、生活の安全(緊急車両等の良好な通行)と、地域住民の利便性の向上を図るため、早急に整備する必要がある。							予算額・執行額 (単位:千円)	R04年度	R05年度	R05年度の主な収入内訳(名称等)	
	事業概要	用地買収、物件移転補償、道路工事の実施 整備延長L=96m、幅員W=6m										当初予算
根拠法令、関係計画、通知等		津古まちづくり計画							補正予算			2,455
	活動目標及び活動実績1(アウトプット)	活動指標	用地買収 単年度完了面積	活動実績	m2	115	181		前年度から繰越			
当初見込				m2	115	181	229	翌年度へ繰越				
活動目標及び活動実績2(アウトプット)	活動指標		活動実績					予備費等				
			当初見込					計	7,000	38,555		
単位当たりコスト	算出根拠			単位	R04年度	R05年度		執行額	6,846	38,465		
	現場条件や施工方法により工事費が異なるため、コスト設定は適切ではない。			単位当たりコスト				執行率(%)	98%	100%		
成果目標及び成果実績1(アウトカム)	成果目標	道路整備延長	単位	R04年度	R05年度	中間目標	目標最終年度	歳入予算	R04年度	R05年度		R05年度の主な収入内訳(名称等)
	成果実績	m	-	-	R04年度	R07年度	国庫支出金	3,500	19,277			
成果指標	整備延長全ての整備	目標値	m	-	-	-	96	県支出金				
達成度	%	-	-	-	-	-	-	使用料・手数料				
成果目標及び成果実績2(アウトカム)	成果目標		単位	R04年度	R05年度	中間目標	目標最終年度	分担金・負担金等				
	成果実績							財産収入				
補足説明	根拠として用いた統計・データ名(出典)		総延長(96m)						繰入金			
									諸収入			
補足説明	根拠として用いた統計・データ名(出典)								繰越金			
									地方債	3,100	17,300	
補足説明	根拠として用いた統計・データ名(出典)								一般財源	400	1,978	
									計	7,000	38,555	
補足説明	根拠として用いた統計・データ名(出典)								歳出予算	R04年度	R05年度	R05年度の主な用途
									不動産鑑定手数料			
補足説明	根拠として用いた統計・データ名(出典)								用地買収費	2,546	2,745	
									物件等移転補償費	4,454	35,810	
補足説明	根拠として用いた統計・データ名(出典)								計	7,000	38,555	
									正職員	0.2	0.3	
補足説明	根拠として用いた統計・データ名(出典)								再任用			
									会計年度月額			
補足説明	根拠として用いた統計・データ名(出典)								会計年度日額			
									計	0.20	0.30	
補足説明	根拠として用いた統計・データ名(出典)								人件費合計(千円)	1,340	2,010	
									総費用(千円)	8,186	40,475	
補足説明	根拠として用いた統計・データ名(出典)								人件費等の修正(千円)			
									総費用(千円)※人件費等修正後	8,186	40,475	

シートNo.	都-31	事務事業名	三国・津古5310号線道路整備事業		部・課・係	都市建設部	まちづくり推進課	施設・公園係	
事業No.	J004189	開始年度	平成30年度	終了予定年度	令和7年度	施策コード	P2021	作成責任者	まちづくり推進課長

項目	令和5年度 事務事業担当課による点検・改善		＜参考＞令和4年度 事務事業担当課による点検・改善	
	評価	評価に関する説明	評価	評価に関する説明
事業の必要性	事業の目的は市民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○ 地域住民の利便性の向上を図るとともに、緊急車両等の良好な通行を可能にするため、道路の拡幅整備を行う。	○ 地域住民の利便性の向上を図るとともに、緊急車両等の良好な通行を可能にするため、道路の拡幅整備を行う。	
	地域、民間等に委ねることができない事業なのか。	○ 道路法で定められた市道認定道路であり、事業者が限られる。	○ 道路法で定められた市道認定道路であり、事業者が限られる。	
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○ 津古まちづくり計画に基づき計画された道路であり、津古区からも事業の推進が求められている。	○ 津古まちづくり計画に基づき計画された道路であり、津古区からも事業の推進が求められている。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	-	-	
	一般競争入札、指名競争入札又は随意契約(プロポーザル)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。			
	競争性のない随意契約となったものはないか。			
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-	-	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	-	-	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○ 道路拡幅事業に必要な用地買収である。	○ 道路拡幅事業に必要な用地買収である。	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-	
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-		
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	-	-		
事業の有効性	活動実績は見込みに合ったものであるか。	○ 予定されていた活動を実施した。	○ 予定されていた活動を実施した。	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	- 不動産鑑定を行い適切な金額で買収した。	- 不動産鑑定を行い適切な金額で買収した。	
	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	○ 予定されていた事業を実施した。	○ 予定されていた事業を実施した。	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	- 道路拡幅のため、用地買収を実施。未供用。	- 道路拡幅のため、用地買収を実施。未供用。	
関連事業	関連する事業がある場合、他課等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を右に記載)			
	課名			
	連番			
	事業名			
点検・改善結果	点検結果	令和5年度に予定していた用地買収が完了した。	令和4年度に予定していた用地買収が完了した。	
	改善の方向性	引き続き速やかに用地交渉に入り、今年度予定している用地買収の年度内完了を目指す。	引き続き速やかに用地交渉に入り、令和6年度用地買収完了、令和7年度工事を行い事業完了を目指す。	

# 事務事業評価シート(令和5年度事務事業)

シートNo.	都-32	事務事業名	公園施設長寿命化対策事業		部・課・係	都市建設部	まちづくり推進課	施設・公園係	
事業No.	J004088	開始年度	平成28年度	終了予定年度	終了予定なし	施策コード	P2044	作成責任者	まちづくり推進課長

事業の目的	都市公園施設の長寿命化対策の実施により、ライフサイクルコストが縮減し、施設の長期的にわたる機能の発揮を目指す。							予算額・執行額 (単位:千円)	当初予算	R04年度	R05年度	R05年度の主な収入内訳(名称等)	
	事業概要	都市公園43箇所のうち、遊具等が設置された39箇所について公園施設の調査を行い、調査結果に基づいて平成29年度に「公園施設長寿命化計画」を策定した。計画に基づき施設の修繕・改築・更新を行うことで施設の長寿命化を図り、公園利用者の安全性・快適性を確保する。 社会資本整備総合交付金 国費率1/2 (採択条件:30,000千円/年以上)							補正予算	30,000	30,000		
根拠法令、関係計画、通知等		都市公園法 小郡市公園施設長寿命化計画(計画期間:2019~2028)							予算内訳 (単位:千円)	前年度から繰越			
	活動目標及び活動実績1 (アウトプット)	活動指標	事業を実施した都市公園数	活動実績	箇所	R04年度	R05年度	R06年度 活動見込		R07年度 活動見込	歳入予算		R04年度
活動目標及び活動実績2 (アウトプット)		活動指標		当初見込	箇所	5	3	5	4	国庫支出金	15,000		15,000
	単位当たりコスト	算出根拠		単位	R04年度	R05年度			県支出金				
現場条件や施工方法により工事費が異なるため、コスト設定は適切ではない。		計算式	X/Y					使用料・手数料					
成果目標及び成果実績1 (アウトカム)	成果目標	更新済み都市公園数	成果実績	箇所	7	10	中間目標 R05年度	目標最終年度 R10年度	分担金・負担金等				
	成果指標	令和10年度までに計画している公園数	目標値	箇所	7	10	13	32	財産収入				
	補足説明	長寿命化計画は小郡運動公園(スポーツ振興課)も含む。令和10年度以降も継続予定。							繰入金				
	根拠として用いた統計・データ名(出典)	更新済み公園数/公園施設長寿命化計画において更新が必要な公園数(32箇所)							繰越金				
成果目標及び成果実績2 (アウトカム)	成果目標		成果実績						地方債	13,500	15,000		
	成果指標		目標値						一般財源	1,775	3		
	補足説明		達成度	%	21	31	-	-	計	30,275	30,003		
	根拠として用いた統計・データ名(出典)								歳出予算	R04年度	R05年度		
									工事請負費	30,275	30,003		
									計	30,275	30,003		
									正職員	0.3	0.3		
									再任用				
									会計年度月額				
									会計年度日額				
									計	0.30	0.30		
									人件費合計(千円)	2,010	2,010		
									総費用(千円)	32,284	32,012		
									人件費等の修正(千円)				
									総費用(千円)※人件費等修正後	32,284	32,012		

シートNo.	都-32	事務事業名	公園施設長寿命化対策事業	部・課・係	都市建設部	まちづくり推進課	施設・公園係
事業No.	J004088	開始年度	平成28年度	終了予定年度	終了予定なし	作成責任者	まちづくり推進課長

項目	令和5年度 事務事業担当課による点検・改善		<参考>令和4年度 事務事業担当課による点検・改善	
	評価	評価に関する説明	評価	評価に関する説明
事業の必要性	事業の目的は市民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○ 都市公園は古いところ約40年が経過しており、施設の老朽化が目立つ。現在は点検を年3回(遊具)行い、緊急性の高いものから修繕を行っている状況であるが、改築・更新が必要と思われる施設が多数あり、今後は長寿命化計画を策定し、計画的な修繕・改築・更新を行っていく必要がある。	○ 都市公園は古いところ約40年が経過しており、施設の老朽化が目立つ。現在は点検を年3回(遊具)行い、緊急性の高いものから修繕を行っている状況であるが、改築・更新が必要と思われる施設が多数あり、今後は長寿命化計画を策定し、計画的な修繕・改築・更新を行っていく必要がある。	
	地域、民間等に委ねることができない事業なのか。	- 公共施設の改修である。	- 公共施設の改修である。	
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○ ライフサイクルコストをの縮減を図るため、計画的な改修が求められる。	○ ライフサイクルコストをの縮減を図るため、計画的な改修が求められる。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○ 指名競争入札	○ 指名競争入札	
	一般競争入札、指名競争入札又は随意契約(プロポーザル)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	無	無	
	競争性のない随意契約となったものはないか。	無	無	
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-	-	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	- 遊具は1基あたりの規格に大きな差異があるため比べられるものではない。	- 遊具は1基あたりの規格に大きな差異があるため比べられるものではない。	
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	-	-	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-	
事業の有効性	繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	○ 令和6年度当初予算で計上予定であった予算を令和5年度に前倒して予算化することで、交付金が満額交付された。	○ 令和5年度当初予算で計上予定であった予算を令和4年度に前倒して予算化することで、交付金が満額交付された。	
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	○ 各年度の経費を平準化し、費用の偏りを防ぐ。また、計画的な更新によりライフサイクルコストの縮減が図られた。	○ 各年度の経費を平準化し、費用の偏りを防ぐ。また、計画的な更新によりライフサイクルコストの縮減が図られた。	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○ 予定されていた活動を実施した。	○ 予定されていた活動を実施した。	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○ 耐用年数を超過した遊具を更新することにより、維持補修費が削減された。	○ 耐用年数を超過した遊具を更新することにより、維持補修費が削減された。	
関連事業	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	○ 予定通り遊具を更新した。	○ 予定通り遊具を更新した。	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○ 遊具を利用する子どもが増加した。	○ 遊具を利用する子どもが増加した。	
	関連する事業がある場合、他課等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を右に記載)			
点検・改善結果	点検結果	令和5年度に4公園の遊具更新を実施した。また、令和6年度に4公園の遊具更新を予定している。	令和4年度に5公園の遊具更新を実施した。また、令和5年度に3公園の遊具更新を予定している。	
	改善の方向性	予定している遊具更新について、地元調整等を行い、速やかに発注を行う。	予定している遊具更新について、地元調整等を行い、速やかに発注を行う。	

事務事業評価シート(令和5年度事務事業)

シートNo.	都-33	事務事業名	小郡・東福童3077号線道路整備事業		部・課・係	都市建設部	まちづくり推進課	施設・公園係	
事業No.	J004536	開始年度	令和元年度	終了予定年度	未定	施策コード	P2021	作成責任者	まちづくり推進課長

事業の目的		地域住民の利便性、土地利用の向上を図るとともに、緊急車両等の通行を可能にするため、市道の新設を行う。						予算額・執行額 (単位:千円)	当初予算	R04年度	R05年度	R05年度の主な収入内訳(名称等)	
事業概要		用地買収、物件移転補償、道路工事の実施 整備延長L=130m、幅員W=6m							予算状況	17,500	0		
根拠法令、関係計画、通知等		福童まちづくり計画							補正予算				
活動目標及び活動実績1(アウトプット)		活動指標	用地買収完了面積	単位	R04年度	R05年度	R06年度活動見込		R07年度活動見込	前年度から繰越			
活動目標及び活動実績2(アウトプット)		活動指標		単位	R04年度	R05年度	R06年度活動見込	R07年度活動見込	翌年度へ繰越				
単位当たりコスト		算出根拠		単位	R04年度	R05年度			予備費等	▲ 2,110			
成果目標及び成果実績1(アウトカム)		成果目標	道路整備延長	単位	R04年度	R05年度	中間目標	目標最終年度	計	15,390			
成果目標及び成果実績2(アウトカム)		成果指標	整備延長全ての整備	単位	R04年度	R05年度	年度	年度	執行額	0			
補足説明		-								執行率(%)	0%		
補足説明		根拠として用いた統計・データ名(出典) 総延長(130m)								歳入予算	R04年度		R05年度
補足説明		根拠として用いた統計・データ名(出典)								国庫支出金			
補足説明		根拠として用いた統計・データ名(出典)								県支出金			
補足説明		根拠として用いた統計・データ名(出典)								使用料・手数料			
補足説明		根拠として用いた統計・データ名(出典)								分担金・負担金等			
補足説明		根拠として用いた統計・データ名(出典)								財産収入			
補足説明		根拠として用いた統計・データ名(出典)								繰入金			
補足説明		根拠として用いた統計・データ名(出典)								諸収入			
補足説明		根拠として用いた統計・データ名(出典)								繰越金			
補足説明		根拠として用いた統計・データ名(出典)								地方債	13,800		
補足説明		根拠として用いた統計・データ名(出典)								一般財源	1,590		
補足説明		根拠として用いた統計・データ名(出典)								計	15,390	0	
補足説明		根拠として用いた統計・データ名(出典)								歳出予算	R04年度	R05年度	R05年度の主な使途
補足説明		根拠として用いた統計・データ名(出典)								公有財産購入費	5,390	0	
補足説明		根拠として用いた統計・データ名(出典)								補償、補填及び賠償金	10,000		
補足説明		根拠として用いた統計・データ名(出典)								計	15,390	0	
補足説明		根拠として用いた統計・データ名(出典)								正職員	0.3	0.3	
補足説明		根拠として用いた統計・データ名(出典)								再任用			
補足説明		根拠として用いた統計・データ名(出典)								会計年度月額			
補足説明		根拠として用いた統計・データ名(出典)								会計年度日額			
補足説明		根拠として用いた統計・データ名(出典)								計	0.30	0.30	
補足説明		根拠として用いた統計・データ名(出典)								人件費合計(千円)	2,010	2,010	
補足説明		根拠として用いた統計・データ名(出典)								総費用(千円)	2,010	2,010	
補足説明		根拠として用いた統計・データ名(出典)								人件費等の修正(千円)			
補足説明		根拠として用いた統計・データ名(出典)								総費用(千円)※人件費等修正後	2,010	2,010	

シートNo.	都-33	事務事業名	小郡・東福童3077号線道路整備事業			部・課・係	都市建設部	まちづくり推進課	施設・公園係
事業No.	J004536	開始年度	令和元年度	終了予定年度	未定	施策コード	P2021	作成責任者	まちづくり推進課長

項目	令和5年度 事務事業担当課による点検・改善		<参考>令和4年度 事務事業担当課による点検・改善	
	評価	評価に関する説明	評価	評価に関する説明
事業の必要性	事業の目的は市民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○ 地域住民の利便性を図るためにも市道の新設を行う必要がある。また、緊急時に緊急車両等が走行できる道路が限られているので早急に整備する必要がある。	○	地域住民の利便性を図るためにも市道の新設を行う必要がある。また、緊急時に緊急車両等が走行できる道路が限られているので早急に整備する必要がある。
	地域、民間等に委ねることができない事業なのか。	○ 事業者が限られている。	○	事業者が限られている。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○ 生活道路の整備を進めることで、住民生活の利便性の向上を図ることができる。	○	生活道路の整備を進めることで、住民生活の利便性の向上を図ることができる。
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	-	-	
	一般競争入札、指名競争入札又は随意契約(プロポーザル)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	無	無	
	競争性のない随意契約となったものはないか。	無	無	
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-	-	道路は特定の人が利用するものでなく、全ての人が利用する公共施設である。
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	-	-	
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	-	-	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-	
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-		
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	-	-	-	
事業の有効性	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	△ 地権者と交渉し、境界未確定の一部について了解を得られた。	×	地権者との用地交渉に時間を要したため、事業を実施できなかった。
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-	-	
	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	△ 地権者と交渉し、境界未確定の一部について了解を得られた。	×	地権者との用地交渉に時間を要したため、事業を実施できなかった。
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-	-	
関連事業	関連する事業がある場合、他課等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を右に記載)			
	課名			
	連番			
	事業名			
点検・改善結果	点検結果	地権者と交渉し、境界未確定の一部について、了解を得られた。引き続き、事業実施に向けて協議を行いたい。		一部、官民境界未確定箇所がある。
	改善の方向性	官民境界未確定箇所については、早期確定を目指して都市整備課と調整し、事業着手に向けて関係者と協議を行う。		官民境界未確定箇所については、都市整備課と調整し早期確定を目指し、用地買収の着手を目指す。

# 事務事業評価シート(令和5年度事務事業)

シートNo.	都-34	事務事業名	東福童地内新設道路整備事業		部・課・係	都市建設部	まちづくり推進課	施設・公園係	
事業No.	J004537	開始年度	平成30年度	終了予定年度	未定	施策コード	P2021	作成責任者	まちづくり推進課長

<b>事業の目的</b>		地域住民の利便性の向上を図るとともに、緊急車両等の通行を可能にするため、市道の新設を行う。						<b>予算額・執行額</b> (単位:千円)		R04年度		R05年度		R05年度の主な収入内訳(名称等)					
<b>事業概要</b>		用地買収、物件移転補償、道路工事を実施 北側【小郡・東福童3525号線】整備延長L=160m 幅員W=6m R2~R7 南側【小郡・東福童3589号線】整備延長L=160m 幅員W=6m H30~ 地方道路等整備事業債(90%)								当初予算		10,000			0				
										補正予算									
										前年度から繰越									
<b>根拠法令、関係計画、通知等</b>		福童まちづくり計画						前年度へ繰越											
								予備費等											
<b>活動目標及び活動実績1</b> (アウトプット)		活動指標		用地買収完了総面積 ~R3 南側 未定 北側		R06年度 活動見込		R07年度 活動見込		計		10,000			0				
				活動実績		m2		1,017		0		0			0				
<b>活動目標及び活動実績2</b> (アウトプット)		活動指標		当初見込		m2		1,117		1,017		-			1,148				
				活動実績															
<b>単位当たりコスト</b>		算出根拠		現場条件や施工方法により工事費が異なるため、コスト設定は適切ではない。		R06年度 活動見込		R07年度 活動見込		執行額		0		0					
				計算式		X/Y						執行率(%)		0%		0%			
<b>成果目標及び成果実績1</b> (アウトカム)		成果目標		道路整備延長		R04年度		R05年度		歳入予算		R04年度		R05年度		R05年度の主な収入内訳(名称等)			
		成果指標		整備延長全ての整備		m		0		0		国庫支出金							
		補足説明		R6・R7 南側工事、【未定】北側工事		中間目標 R07 年度		目標最終年度 年度				県支出金							
		根拠として用いた統計・データ名(出典)				達成度		%		0		0		使用料・手数料					
<b>成果目標及び成果実績2</b> (アウトカム)		成果目標		R04年度		R05年度		中間目標 年度		目標最終年度 年度		分担金・負担金等							
		成果指標		整備延長全ての整備		m		80		0		160		320		財産収入			
		補足説明				達成度		%		0		0		繰入金					
		根拠として用いた統計・データ名(出典)				達成度		%		0		0		諸収入					
<b>投入工数</b> (単位:人)		成果目標		R04年度		R05年度		中間目標 年度		目標最終年度 年度		繰入金							
		成果指標		整備延長全ての整備		m		0		0		9,000		繰越金					
		補足説明				達成度		%		0		0		地方債					
		根拠として用いた統計・データ名(出典)				達成度		%		0		0		一般財源					
<b>総費用</b> (単位:千円)		正職員		0.05		0.3						計		10,000		0			
		再任用																	
		会計年度月額																	
		会計年度日額																	
<b>総費用</b> (単位:千円)※人件費等修正後		人件費合計(千円)		1,085		2,010													
		総費用(千円)		1,085		2,010													
		人件費等の修正(千円)																	
		総費用(千円)※人件費等修正後		1,085		2,010													

シートNo.	都-34	事務事業名	東福童地内新設道路整備事業		部・課・係	都市建設部	まちづくり推進課	施設・公園係	
事業No.	J004537	開始年度	平成30年度	終了予定年度	未定	施策コード	P2021	作成責任者	まちづくり推進課長

項目	令和5年度 事務事業担当課による点検・改善		<参考>令和4年度 事務事業担当課による点検・改善	
	評価	評価に関する説明	評価	評価に関する説明
事業の必要性	事業の目的は市民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○ 県道鳥栖朝倉線バイパス(平成30年10月開通)へ接続する道路整備を行い、生活の安全(緊急車両等の良好な通行)と、地域住民の利便性の向上を図るため、早急に整備する必要がある。	○	県道鳥栖朝倉線バイパス(平成30年10月開通)へ接続する道路整備を行い、生活の安全(緊急車両等の良好な通行)と、地域住民の利便性の向上を図るため、早急に整備する必要がある。
	地域、民間等に委ねることができない事業なのか。	- 道路法で定められた市道認定道路であり、事業者が限られる。	-	道路法で定められた市道認定道路であり、事業者が限られる。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○ 福童まちづくり計画に基づき計画された道路であり、事業に着手しているため早期完了を目指している。	○	福童まちづくり計画に基づき計画された道路であり、事業に着手しているため早期完了を目指している。
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。 一般競争入札、指名競争入札又は随意契約(プロポーザル)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。 競争性のない随意契約となったものはないか。	-	-	-
	受益者との負担関係は妥当であるか。	- 道路は特定の人が利用するものではなく、全ての人が利用する公共施設である。	-	道路は特定の人が利用するものではなく、全ての人が利用する公共施設である。
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	-	-	-
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○ 関係者と協議を行い、事業に着手したい。	○	南側の道路整備工事については、関係者と協議を行い、事業内容を整理して工事に着手したい。
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-	-
	繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-	-
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	-	-	-
事業の有効性	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	△ R6工事実施に向けて、関係者と協議を行った。引き続き、事業を円滑に進められるよう協議したい。	×	関係者との協議が整わず、事業に着手できなかった。引き続き、協議を行い工事を実施したい。
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-	-	-
	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	△ R6工事実施に向けて、関係者と協議を行った。引き続き、事業を円滑に進められるよう協議したい。	×	関係者との協議が整わず、事業に着手できなかった。引き続き、協議を行い工事を実施したい。
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-	-	-
関連事業	関連する事業がある場合、他課等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を右に記載)	-	-	-
	課名			
	連番			
	事業名			
点検・改善結果	点検結果	北側については、事業実施に向けて関係者と協議を行ったが、事業推進の理解が得られなかった。南側については、関係者と協議を行い、R6工事の実施に向けて調整中である。		北側については、R3に引き続き相続人調査のため、弁護士等に相談した。南側については、関係地権者と協議が整わず、工事に着手できなかった。
	改善の方向性	北側については、事業実施に向けて、関係者と協議を重ね、用地買収に着手したい。南側については、R6～R7に工事を行い令和7年度の事業完了を目指す。		北側については、不在者財産管理人制度等の利用も含め、相続人問題について解決に取り組んでいきたい。南側については、引き続き関係者と協議を重ね、工事に着手したい。



# 事務事業評価シート(令和5年度事務事業)

シートNo.	都-35	事務事業名	小郡・西福童3081・3086号線道路整備事業		部・課・係	都市建設部	まちづくり推進課	施設・公園係	
事業No.	J000433	開始年度	平成20年度	終了予定年度	令和6年度	施策コード	P2021	作成責任者	まちづくり推進課長

事業の目的	現道は幅員が約5mの道路であり、通学路として利用されているが、車両通行のバイパス的な役割を果たしており、交通量が多く危険な状況であるため、道路の拡幅、歩道の整備を行う。							予算額・執行額 (単位:千円)	当初予算	R04年度	R05年度	R05年度の主な収入内訳(名称等)	
	事業概要	用地買収、物件移転補修、道路工事の実施 【2期事業】整備延長L=180m、幅員W=14m 【交差点改良事業】県道久留米小郡線との交差点改良 【道路】地域活性化事業債(75%)、【交差点】地方道路等整備事業債(90%)							補正予算	▲ 24,000	16,000		
根拠法令、関係計画、通知等		福童まちづくり計画							前年度から繰越				
	活動目標及び活動実績1(アウトプット)	活動指標	用地買収完了総面積	単位	R04年度	R05年度	R06年度 活動見込	R07年度 活動見込	翌年度へ繰越		▲ 13,682		
活動目標及び活動実績2(アウトプット)		活動指標		単位	R04年度	R05年度	R06年度 活動見込	R07年度 活動見込	予備費等		▲ 103		
	単位当たりコスト	算出根拠		単位	R04年度	R05年度			計	23,000	37,915		
成果目標及び成果実績1(アウトカム)		成果目標	道路整備延長	単位	R04年度	R05年度	中間目標 年度	目標最終年度 6年度	執行額	20,269	37,188		
	成果指標	整備延長全ての整備	成果実績	m	-	-	-	-	執行率(%)	88%	98%		
成果目標及び成果実績2(アウトカム)	補足説明	用地買収を平行して道路工事を実施しているため、整備延長のすべての道路工事を実施しているが未完成である							歳入予算	R04年度	R05年度		R05年度の主な収入内訳(名称等)
	根拠として用いた統計・データ名(出典)								国庫支出金				
成果目標及び成果実績2(アウトカム)	成果目標		単位	R04年度	R05年度	中間目標 年度	目標最終年度 年度	県支出金					
	成果指標		成果実績					使用料・手数料					
成果目標及び成果実績2(アウトカム)	補足説明	根拠として用いた統計・データ名(出典)							分担金・負担金等				
	根拠として用いた統計・データ名(出典)								財産収入				
成果目標及び成果実績2(アウトカム)	補足説明								繰入金				
	根拠として用いた統計・データ名(出典)								諸収入				
成果目標及び成果実績2(アウトカム)	補足説明								繰越金				
	根拠として用いた統計・データ名(出典)								地方債	18,300	28,400		
成果目標及び成果実績2(アウトカム)	補足説明								一般財源	4,700	9,515		
	根拠として用いた統計・データ名(出典)								計	23,000	37,915		
成果目標及び成果実績2(アウトカム)	補足説明								歳出予算	R04年度	R05年度	R05年度の主な使途	
	根拠として用いた統計・データ名(出典)								工事請負費	16,000	37,189		
成果目標及び成果実績2(アウトカム)	補足説明								委託料	7,000			
	根拠として用いた統計・データ名(出典)								物件等移転補償費		726		
成果目標及び成果実績2(アウトカム)	補足説明								正職員		0.15		0.3
	根拠として用いた統計・データ名(出典)								再任用				
成果目標及び成果実績2(アウトカム)	補足説明								会計年度月額	0.25	0.1		
	根拠として用いた統計・データ名(出典)								会計年度日額				
成果目標及び成果実績2(アウトカム)	補足説明								計	0.40	0.40		
	根拠として用いた統計・データ名(出典)								人件費合計(千円)	1,755	2,310		
成果目標及び成果実績2(アウトカム)	補足説明								総費用(千円)	22,024	39,498		
	根拠として用いた統計・データ名(出典)								人件費等の修正(千円)				
成果目標及び成果実績2(アウトカム)	補足説明								総費用(千円)※人件費等修正後	22,024	39,498		
	根拠として用いた統計・データ名(出典)												

シートNo.	都一35	事務事業名	小郡・西福童3081・3086号線道路整備事業		部・課・係	都市建設部	まちづくり推進課	施設・公園係	
事業No.	J000433	開始年度	平成20年度	終了予定年度	令和6年度	施策コード	P2021	作成責任者	まちづくり推進課長

項目	令和5年度 事務事業担当課による点検・改善		＜参考＞令和4年度 事務事業担当課による点検・改善	
	評価	評価に関する説明	評価	評価に関する説明
事業の必要性	事業の目的は市民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○ 現道は幅員が約5mの通学路として利用されている道路であるが、バイパス的な役割を果たしており、車両の交通量が多く危険な状況であるため、早急に整備する必要がある。	○ 現道は幅員が約5mの通学路として利用されている道路であるが、バイパス的な役割を果たしており、車両の交通量が多く危険な状況であるため、早急に整備する必要がある。	
	地域、民間等に委ねることができない事業なのか。	- 道路法で定められた市道認定道路であり、事業者が限られる。	- 道路法で定められた市道認定道路であり、事業者が限られる。	
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○ 福童まちづくり計画に基づき計画された道路であり、西福童区からも事業の早期完了が求められている。	○ 福童まちづくり計画に基づき計画された道路であり、西福童区からも事業の早期完了が求められている。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○ 指名競争入札	○ 指名競争入札	
	一般競争入札、指名競争入札又は随意契約（プロポーザル）による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	無	無	
	競争性のない随意契約となったものはないか。	無	無	
	受益者との負担関係は妥当であるか。	- 道路は特定の人を利用するものではなく、全ての人を利用する公共施設である。	- 道路は特定の人を利用するものではなく、全ての人を利用する公共施設である。	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	-	-	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○ 道路工事には必要なものであり、道路完成には必要なものである。	○ 道路工事には必要なものであり、道路完成には必要なものである。	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。（理由を右に記載）	-	-	
事業の有効性	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○ 予定通りの事業実施ができた。	○ 予定通りの事業実施ができた。	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-	-	
	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	○ 予定通り、道路工事の実施ができた。	○ 予定通り、道路工事の実施ができた。	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	△ 進捗した道路の一部を利用している。	△ 進捗した道路の一部を利用している。	
関連事業	関連する事業がある場合、他課等と適切な役割分担を行っているか。（役割分担の具体的な内容を右に記載）	-	-	
	課名			
	連番			
点検・改善結果	点検結果	事業開始から年数が経っており、事業期間が長くなっている。 信号機設置については、警察協議が整い、工事を実施したことで定周期型信号機の供用開始ができた。	用地買収が1件残っており、事業が完了していない。 事業開始から年数が経っており、事業期間が長くなっている。 交差点の警察協議を行っているが、信号機設置時期が明確ではない。	
	改善の方向性	関係者との協議を進め、令和5年度に大幅に事業が進捗したことで、令和6年度の事業完了を目指す。	関係者との協議を進め、終点の交差点信号機設置及び道路工事については、令和5年度の事業完了を目指す。 起点の交差点改良については工事を令和6年度の事業完了を目指す。	